

第4章 用紙の取り扱い

本章では、次の内容を説明します。

- InfoPrint 40 で使える用紙の種類
- 用紙のセットのしかた
 - トレイ 1 に用紙をセットする。
 - トレイ 2 に用紙をセットする。
 - 補助トレイに用紙をセットする。
 - 封筒トレイに用紙をセットする。
 - トレイ 3、4、5 (2500 枚給紙ユニット) に用紙をセットする。
- 操作パネルの「ヨウシメニュー」の使い方
 - 省略時の給紙トレイ、排紙トレイを指定する。
 - 用紙サイズを指定する。
 - トレイ切り替え機能を使う。
 - 両面印刷を行う。

注:

1. 操作パネルでは、トレイの名前は次のようにカタカナ表記されます (「ゲンゴ =KATAKANA」 のとき)。

操作パネルの表示	説明
トレイ 1	一番上の給紙トレイです。500 枚入れられます。2500 枚給紙ユニット (トレイ 3、4、5) がないときは、トレイ 1 が省略時の給紙トレイです。
トレイ 2	上から 2 番目の給紙トレイです。500 枚入れられます。
トレイ 3	2500 枚給紙ユニットの中の給紙トレイです。トレイ 2 の下にあり、500 枚入れられます
トレイ 4	2500 枚給紙ユニットの中の給紙トレイです。トレイ 3 の下にある 2 つの給紙トレイのうち左側の方です。1000 枚入れられます。
トレイ 5	2500 枚給紙ユニットの中の給紙トレイです。トレイ 3 の下にある 2 つの給紙トレイのうち右側の方です。1000 枚入れられます。2500 枚給紙ユニットが付いているときは、トレイ 5 が省略時の給紙トレイです。
ホジョトレイ	プリンター本体左側の補助トレイです。50 枚入れられます。

操作パネルの表示	説明
フウトウ	オプションの封筒トレイです。

- 印刷機能があるアプリケーションやプリンター・ドライバーで指定した値は、プリンターの操作パネルで指定した値よりも優先されます。たとえば、操作パネルで給紙トレイをトレイ 2 に指定し、アプリケーションからは印刷時にトレイ 1 を指定したとします。このときは、アプリケーションの指定が優先されるので、トレイ 1 から給紙されます。
- 印刷時に指定した給紙トレイが用紙切れになったとします。このとき、もしも「ヨウシメニュー」の「トレイ・スイッチ」がオンになっていると、プリンターは別の給紙トレイに同じ用紙が入っていないか探します。給紙トレイに最初から間違ったサイズの用紙が入っていたときは、「トレイ・スイッチ」の設定に関係なく、プリンターは常に別の給紙トレイを探します。『トレイ切り替え機能を使う』(96 ページ) を参照してください。

用紙の種類

次の各項では、InfoPrint 40 で使える用紙について説明します。

- 『サイズ』(54ページ)
- 『重さと厚さ』(60ページ)
- 『紙の品質』(61ページ)
- 『ラベル紙』(61ページ)
- 『OHP フィルム』(62ページ)
- 『封筒』(62ページ)

レーザー・プリンター用の用紙を使うことをお勧めします。用紙 (ラベル紙、OHP フィルム、封筒を含む) を大量に購入するときは、以下の説明をよく読み、事前に十分なテストをしてください。

注:

- 用紙の種類によっては、サイズや重さが仕様に従っていても、印刷時に問題が起きることがあります。使用環境 (温度、湿度など) や用紙自体の性質 (材料、表面の仕上げ、厚さ、吸湿性など) によっては、印字品質に問題が起きたり、紙詰まり、紙の曲がり (カール)、排紙トレイ上の紙の不ぞろいなどが起きたりします。たとえば、小さい紙は斜行 (スキュー) が起きやすくなります。これは、紙が小さいと、紙送りローラーとの接触面積が小さくなるからです。用紙 (ラベル紙、OHP フィルム、封筒を含む) を大量に購入したり、

大量に印刷したりするとき、あらかじめ少量でテストしてください。テストの際は、実際と同じ稼働環境で、同じアプリケーションを使って印刷してください。

用紙の仕様について詳しくは、*IBM Page Printers Paper Reference Booklet* (G544-3178)、または *IBM ページ印刷装置 IBM 電子写真方式印刷装置用カットシート用紙解説* (G588-6018) を参照してください。

2. InfoPrint 40 は、ゴム・ローラーの摩擦によって紙を送ります。したがって、紙によっては斜めに給紙 (スキュー) されたり、印字位置が少しずれたりすることがあります。このような問題は、用紙サイズが小さかったり、事前印刷用紙を使ったりすると起きる傾向があります。本番稼働前のテストは十分に行ってください。
3. 仕様に従っていない用紙を使用すると、保守が必要になるような問題が発生したり、サプライ用品の寿命が短くなる原因になります。このような問題は、弊社の保証書または保守契約書には記載されていません。
4. 弊社では、特定の紙製品の保証や推奨はいたしません。ラベル紙、OHP フィルム、封筒についても同様です。用紙の特性はメーカーが変更することがあります。しかし弊社はそのような変更を管理しておりません。用紙が仕様にすべて適合していても、満足できる印刷ができないこともあります。これは、用紙の取り扱いや保管に問題がある可能性があります。このような取り扱いや保管による問題には、弊社は対応できません。

サイズ

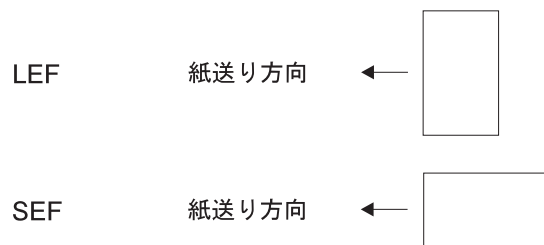
InfoPrint 40 で使える用紙サイズと給紙トレイの関係を示します。

表の見方

LEF/SEF

給紙方向を表します。

LEF (Long-edge Feed) は、用紙の長い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。SEF (Short-edge Feed) は、用紙の短い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。



詳しくは 64ページの図を参照してください。用紙とトレイの組み合わせによっては、LEF と SEF のどちらか片方だけが可能です。LEF/SEF と書かれているときは両方が可能です。印刷速度は LEF の方が速くなります。

「給紙方向」(LEF/SEF) と「印刷の向き」(縦 / 横またはポートレート / ランドスケープ) を混同しないでください。給紙方向と印刷の向きは関係がありません。「給紙方向」は、給紙トレイにセットする紙の方向 (置き方) です。LEF でも SEF でも印刷結果は同じです。「印刷の向き」は、用紙を縦長に使うか横長に使うかを指定するものです。印刷の向きは、通常コンピューター上で (アプリケーションかプリンター・ドライバーの設定画面で) 指定します。ポートレートかランドスケープかによって、印刷結果が変わります。

片面印刷

片面印刷だけが可能であることを示します。普通紙の定形用紙は、すべて両面印刷が可能です。不定形用紙、封筒、はがき、OHP フィルム、ラベル紙は、片面印刷だけが可能です。

No その用紙とトレイの組み合わせがサポートされていないことを示します。

用紙名	サイズ	トレイ				
		トレイ 1	トレイ 2、3	トレイ 4、5	補助 トレイ	封筒 トレイ
普通紙						
A4	210 x 297mm 8.27 x 11.69 in	LEF/SEF	LEF/SEF	LEF	LEF/SEF	No
B5	182 x 257mm 7.16 x 10.12 in	LEF	LEF	LEF	LEF	No
B4	257 x 364mm 10.12 x 14.33 in	SEF	SEF	No	SEF	No
A5	148.5 x 210mm 5.85 x 8.27 in	LEF	No	No	LEF	No
A3	297 x 420mm 11.69 x 16.54 in	SEF	SEF	No	SEF	No
レター	215.9 x 279.4mm 8.5 x 11 in	LEF/SEF	LEF/SEF	LEF	LEF/SEF	No
リーガル	215.9 x 355.6mm 8.5 x 14 in	SEF	SEF	No	SEF	No
フォリオ	215.9 x 330.2mm 8.5 x 13 in	SEF	SEF	No	SEF	No
レジャー	279.4 x 431.8mm 11 x 17 in	SEF	SEF	No	SEF	No
Executive	184.2 x 266.7mm 7.25 x 10.5 in	LEF	LEF	LEF	LEF	No
Statement	139.7 x 215.9mm 5.5 x 8.5 in	LEF	No	No	LEF	No
不定形用紙	最小: 100 x 147mm 3.92 x 5.75 in 最大: 297.4 x 431.8mm 11.6 x 17 in	No	No	No	SEF 片面印 刷だけ	No

用紙名	サイズ	トレイ				
		トレイ 1	トレイ 2、3	トレイ 4、5	補助 トレイ	封筒 トレイ
ハガキおよび封筒 (片面印刷だけ可能)						
はがき	100 x 148mm 3.94 x 5.83 in	No	No	No	SEF	No
Monarch 封筒	98.4 x 190.5mm 3.875 x 7.5 in	No	No	No	LEF	LEF
COM10 封筒	104.8 x 241.3mm 4.125 x 9.5 in	No	No	No	LEF	LEF
C5 封筒	162 x 229mm 6.38 x 9.02 in	No	No	No	LEF	LEF
DL 封筒	110 x 220mm 4.33 x 8.66 in	No	No	No	LEF	LEF
不定形封筒	最小: 98.4 x 190.5mm 3.87 x 7.5 in 最大: 215.9 x 245mm 8.5 x 9.6 in	No	No	No	No	LEF
OHP フィルム (片面印刷だけ可能)						
A4	210 x 297mm 8.27 x 11.69 in	LEF/SEF	トレイ 2 LEF/SEF トレイ 3 No	No	LEF/SEF	No
レター	215.9 x 279.4mm 8.5 x 11 in	LEF/SEF	トレイ 2 LEF/SEF トレイ 3 No	No	LEF/SEF	No
ラベル紙 (片面印刷だけ可能)						
A4	210 x 297mm 8.27 x 11.69 in	No	No	No	LEF/SEF	No
レター	215.9 x 279.4mm 8.5 x 11 in	No	No	No	LEF/SEF	No

注:

1. InfoPrint 40 は、常に「A4 用紙グループ」か「レター用紙グループ」のどちらかの状態になっています。それぞれ次の注意点があります。

A4 用紙グループ

- A4 用紙は LEF/SEF どちらも可能です。
- レター用紙は LEF だけが可能です。SEF はできません。
- Executive とリーガルはサポートされていません。

レター用紙グループ

- レター用紙は LEF/SEF どちらも可能です。
- A4 用紙は LEF だけが可能です。SEF はできません。
- B5 と B4 はサポートされていません。

用紙グループとは、プリンターがサポートする用紙の種類を決める、プリンターのモード (状態) です。どちらの用紙グループに属するのかは、プリンターの電源を入れたときに決まり、以後電源を切るまで用紙グループは変わりません。プリンターの用紙グループを指定するには、電源を入れるときに「コールド・リセット」と呼ばれる特別な操作を行います。「コールド・リセット」は、次のようにします。

- 「A4 用紙グループ」にするには、[印刷取消] キーを押しながらプリンターの電源を入れます。操作パネルに「COLD RESET A4」と表示されるまで [印刷取消] を押し続けます。
- 「レター用紙グループ」にするには、[オンライン] キーを押しながらプリンターの電源を入れます。操作パネルに「COLD RESET LTR」と表示されるまで [オンライン] キーを押し続けます。

「コールド・リセット」を行わず、普通にプリンターの電源を入れると、用紙グループは前回プリンターの電源を入れたときと同じになります。工場出荷時は「A4 用紙グループ」になっています。したがって「コールド・リセット」を行わない限り、プリンターは常に「A4 用紙グループ」の状態になります。

「コールド・リセット」を行うと、メニュー設定値は工場出荷時の状態に戻ります。したがって用紙グループを設定する前にプリンター構成ページを印刷し、古い設定値を復元できるようにすることをお勧めします。

プリンター構成ページの印刷方法は『プリンター構成ページを印刷する』(40 ページ) を参照してください。用紙グループの設定については、『リセット メニュー』(130 ページ) も参照してください。

2. プリンターが「A4 用紙グループ」になっていると、Executive とリーガルはサポートされません。しかし、次の手順で Executive やリーガルに印刷できます。
 - a. Executive またはリーガル用紙を給紙トレイに入れます。
 - b. Executive またはリーガル用紙に印刷するジョブをコンピューター上で実行します。
 - c. 操作パネルに「B5 ヲ ～ ニロード」または「B4 ヲ ～ ニロード」というメッセージが表示されます。
 - d. [継続] キーを押します。
 - e. Executive またはリーガル用紙に印刷されます。

同様に、プリンターが「レター用紙グループ」になっていても [継続] を使えば、B5 や B4 用紙に印刷できます。
3. 不定形用紙、封筒、はがき、OHPフィルム、ラベル紙は、両面印刷ができません。
4. 補助トレイから両面印刷できる用紙のサイズは、トレイ 1 から両面印刷できる用紙サイズと同じです。補助トレイにも 2 枚以上の紙を置けます (紙送りは 1 枚ずつ行われます)。補助トレイから両面印刷すると、印刷速度が遅くなります。
5. SEF は LEF に比べて、印刷速度が多少遅くなります。
6. サイズが小さい不定形用紙を使うと、紙詰まりが起きたり、印字位置がずれたりすることがあります。
7. プリンター・ドライバーの設定画面では、用紙名が変わることがあります。たとえば、Windows NT 4.0では、用紙名が次のように表示されます。

本書の用紙名	Windows NT 4.0での表示
B4	B4 JIS
B5	B5 JIS
レター	Letter
リーガル	Legal
レジャー	11x17 インチ
Monarch封筒	Envelope Monarch
COM10封筒	Envelope #10
C5封筒	Envelope C5
DL封筒	Envelope DL

アプリケーションの設定画面 (Microsoft Wordの「ファイル」→「ページ設定」や、一太郎の「ファイル」→「文書スタイル」など) でも、用紙名が変わることがあります。

8. プリンター・ドライバーやアプリケーションの設定画面には、InfoPrint 40がサポートしない用紙が表示されることがあります。たとえば、Windows NT 4.0 の PostScript ドライバー、PCL ドライバー、PAGES ドライバーのプロパティ画面には「PRC Envelope #5」が表示されます。このようなサポートされない用紙は、たとえ表示されていても選択しないでください。
9. プリンター・ドライバーによって、選択できる用紙の種類が変わります。たとえば、PAGES プリンター・ドライバーを使うと「B4→A4 縮小」や「A4 2面印刷」などの用紙名を選べるようになります。このような用紙を選ぶと、拡大・縮小など、ドライバーが提供する機能を利用できます。また、PAGES ドライバーは、フォリオと Statement をサポートしていません。詳しくは、プリンター・ドライバーに付属するドキュメントやヘルプを参照してください。
10. 不定形用紙（ユーザー定義用紙）の印刷方法は『補助トレイに不定形用紙をセットする』（73 ページ）を参照してください。不定形封筒（ユーザー定義サイズの封筒）の印刷方法は『封筒トレイに不定形封筒をセットする』（91 ページ）を参照してください。
11. InfoPrint 40 は、オフセット・スタックをサポートしています。オフセット・スタックとは、プリンターが排紙トレイに用紙を出力するとき、印刷ジョブごとに用紙をずらして置く機能です。オフセット・スタックを使うと、印刷出力が互い違いにずらして置かれるので、用紙を取り分けやすくなります。オフセット・スタックの使い方は、ドライバーのドキュメントを参照してください。オフセット・スタックには次の注意事項があります。
 - フェースアップ・トレイはオフセット・スタックがサポートされていません。
 - オフセット・スタックを利用できる用紙サイズは、次のものだけです。
A4、A3、レター、リーガル、フォリオ、レジャー
 - Windows NT の PAGES プリンター・ドライバーでオフセット・スタックを利用するときは、排紙トレイの選択メニューを使います。排紙トレイの選択肢の中から「オフセット・スタック」が付いているものを選んでください。
12. フィニッシャーには次の注意事項があります。
 - 次の用紙はフィニッシャーに排紙できません。
封筒、はがき、不定形用紙、不定形封筒、Statement
 - フィニッシャーは、1 つの印刷ジョブの中では、1 種類の用紙サイズだけを処理できます。1 つの印刷ジョブに、用紙サイズが 2 種類以上含まれているときは、フィニッシャーに排紙しないでください。

- フィニッシャーに紙が容量いっぱい (2000 枚) 入りきらないことがあります。たとえば次のようなときは、2000 枚入る前に「排紙トレイがいっぱいである」とプリンターが判断することがあります。
 - 用紙サイズが A4 より大きいとき
 - 印刷出力をステープルでとじているとき
 - フィニッシャーに紙が入ったままでプリンターの電源を入れたとき
 このようなときは、フィニッシャーにたまった用紙を取り除いてから、いったんプリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。
- ステープル (ホチキス) を使っているときは、次のどれかに達するまで排紙できます (紙の厚みや重さなどによって条件が変わります)。
 - 排紙された紙の厚みの合計が 48mm になる
 - 枚数が 600 枚になる
 - ステープルでとじた束が 100 セットになる
 たとえば、50 枚ごとにステープルでとじるならば 12 セットまで一度に排紙できます。20 枚ごとなら 30 セットまでです。しかし、たとえ合計が 600 枚に満たなくても、100 セットを超える排紙はできません。

重さと厚さ

InfoPrint 40 がサポートする用紙の重さと厚さは次のとおりです。

給紙トレイ	用紙の種類	サポートされている用紙の重さまたは厚み
トレイ 1、2	普通紙	64 ~ 90g/m ² (17 ~ 24 ポンド)
	OHP フィルム	0.099 ~ 0.114mm (0.0039 ~ 0.0045 インチ) の厚み
トレイ 3、4、5 (2500 枚給紙ユニット)	普通紙	64 ~ 90g/m ² (17 ~ 24 ポンド)
補助トレイ	普通紙	64 ~ 90g/m ² (17 ~ 24 ポンド)
	はがき	190g/m ² (57 ポンド)
	OHP フィルム	0.099 ~ 0.114mm (0.0039 ~ 0.0045 インチ) の厚み
	ラベル紙	0.127 ~ 0.178mm (0.005 ~ 0.007 インチ) の厚み、165g/m ² 以下
	封筒	105g/m ² 以下*
封筒トレイ	封筒	105g/m ² 以下*

注* 木のパルプを 80% 以上使っている紙 (ボンド紙) を推奨します。

紙の品質

- 印刷品質を維持するために、用紙の選定に注意してください。木のパルプを原料にした質の良いレーザー・プリンター用紙 (ゼログラフィー用紙) を使ってください。用紙を保管するときは用紙メーカーの指示に従ってください。
- InfoPrint 40 は再生紙も使えます。再生紙を使うときは、木のパルプを原料にしており、レーザー・プリンターに使えることを事前に確認してください。
- 破れている紙や、切れ目、折れ目が入っている紙は使えません。端が丸まっている紙、ちぎれている紙、ほこりっぽい紙も使えません。
- 用紙を保管するときは、吸湿しないように包装してください。
- 用紙は平らな場所に置いてください。曲がり (カール) は 6mm 以下になるようにしてください。これは紙詰まりを防ぐためです。
- 用紙の「すき方向」と「給紙方向」が一致するようにしてください。一致していないとカールしやすく、紙詰まりの原因になります。用紙を発注するときは、LEF なら横目、SEF なら縦目を指定してください。
- InfoPrint 40 は事前穿孔用紙 (パンチ穴の開いた紙) も使えます。事前穿孔用紙の向きを示すシールが給紙トレイに貼ってありますので確認してください。パンチ穴の縁の部分がくっついて、2 枚以上同時に給紙されないようにしてください。用紙の内部に 8mm 以上の切り抜き部分やミシン目がある紙は使えません。パンチ穴の位置が標準でない紙も使えません。
- 低温で溶けるインクを使ったレターヘッド用紙は使えません。InfoPrint 40 の印字部は 200°C になります。色付きの用紙や事前印刷用紙を使うときは、この温度に耐えられることを事前に確認してください。
- 表面がざらざらした紙、つるつるした紙、エンボス加工した紙は使えません。紙送りや印刷品質で問題が起きる原因になります。ざらざらした紙を使うと、トナーがうまく付着しません。
- 次の紙は使えません。複葉紙、謄写用紙、無カーボン用紙、表面をコーティング加工した紙、導電性が高い用紙、タルク/ワックス/ステアリン酸塩/柔軟剤を施した紙

ラベル紙

- レーザー・プリンター用に推奨されているラベル紙を使ってください。保管するときは、ラベル紙メーカーの指示に従ってください。
- ラベル紙を給紙できるのは、補助トレイだけです。
- InfoPrint 40 の印字部は 200°C になります。ラベル紙の粘着剤が 200°C でも変質しないことを確認してください。

- シールが隣り合わずに離れているラベル紙は使わないでください。このようなラベル紙は、印刷中にシールがはがれたりずれたりして、重大な紙詰まりを起こす可能性があります。
- ラベル紙は、曲がりかどの方向にも 6mm 以下になるように平らに置いてください。

OHP フィルム

- レーザー・プリンター用に推奨されている OHP フィルムを使ってください。保管するときは、OHP フィルムメーカーの指示に従ってください。
- InfoPrint 40 の印字部は 200°C になります。この温度に耐えられる OHP フィルムを使ってください。
- OHP フィルムを給紙できるのは、補助トレイ、トレイ 1、トレイ 2 の 3 つだけです。

封筒

- レーザー・プリンター用に推奨されている封筒を使ってください。保管するときは、封筒メーカーの指示に従ってください。
- 封筒を給紙できるのは、補助トレイと封筒トレイの 2 つだけです。
- 不定形封筒を給紙できるのは、封筒トレイだけです。
- 封筒のふた (折り返し部分) の向きは、封筒トレイのマークに従ってください。
- 補助トレイから封筒を給紙するときは、ふた (折り返し部分) を折り、ふたを上側にして LEF (Long-edge feed) の向きにします。ふたが長い方の辺に付いているときは、ふたの側が先に送られる向きにセットします。詳しくは『補助トレイに封筒をセットする』(76 ページ) を参照してください。
- 重さは 105 g/m² 以下にしてください。
- 封筒は、曲がりか 6mm 以下になるように平らに置いてください。
- 窓や留め具が付いている封筒は使えません。粘着ラベルのシールをはがしてふたをするタイプの封筒も使えません。

用紙のセット

用紙を給紙トレイにセットできるのは、次のときです。

1. プリンターの電源が切れているとき。
2. 操作パネルに「インサツカノウ」または「オフライン」が表示されているとき。

3. 操作パネルに「〈用紙〉ヲ〈トレイ〉ニロード」が表示されているとき。
〈用紙〉には用紙サイズが入ります。〈トレイ〉には給紙トレイ名が入ります。このメッセージは、印刷ジョブが選んだ給紙トレイに、必要な用紙が入っていないときに表示されます。
4. プリンターが印刷中で、ほかの給紙トレイから紙を送っているとき。現在給紙中のトレイには用紙を追加しないでください。紙詰まりの原因になります。

トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

操作パネルでトレイ 1 またはトレイ 2 を選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「トレイ 1」または「トレイ 2」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ) を参照してください。

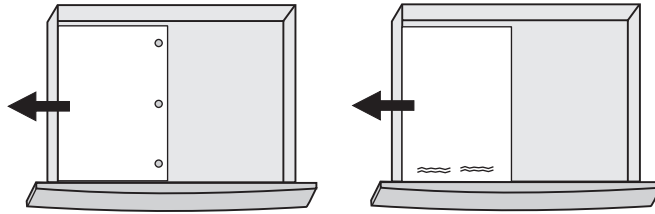
トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットするときは、次のようにします。

1. セットできる用紙の種類については、『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。下の図 は、LEF および SEF 方向にセットした用紙を示しています。LEF (Long-edge feed) は、用紙の長い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。SEF (Short-edge feed) は、用紙の短い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。

注: 「給紙方向」(LEF/SEF) と「印刷の向き」(縦 / 横またはポートレート / ランドスケープ) を混同しないでください。詳しくは『サイズ』(54 ページ) の LEF/SEF の説明を参照してください。

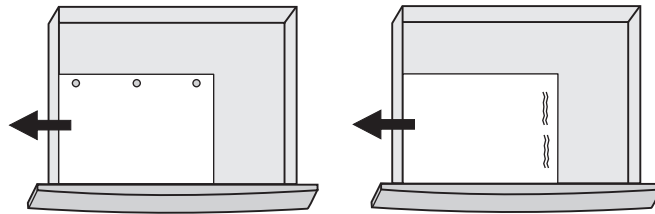
片面印刷

LEF



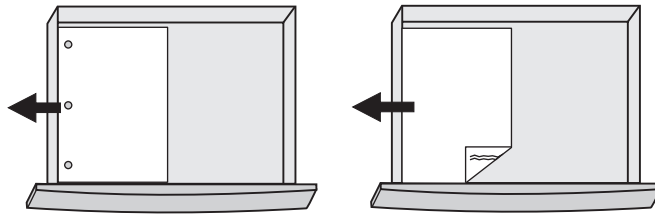
用紙の表側を上にする

SEF



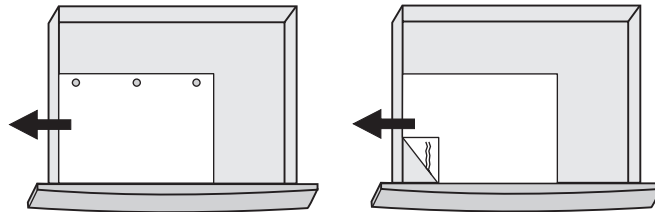
両面印刷

LEF



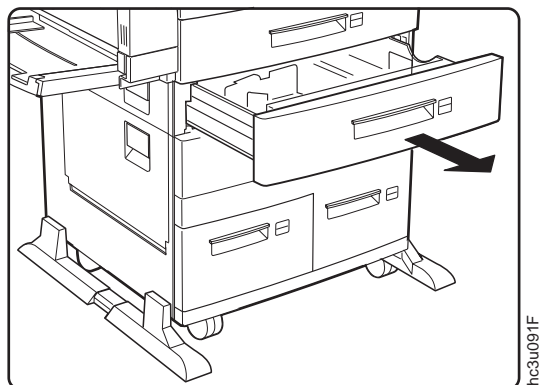
用紙の表側を下にする

SEF

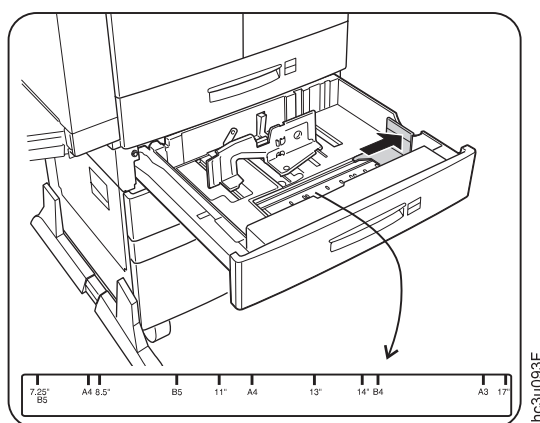


hc3u169F

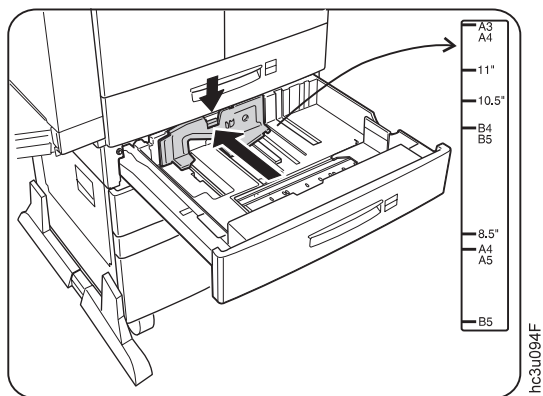
2. トレイに手をかけ、手前に止まるまで引き出します。



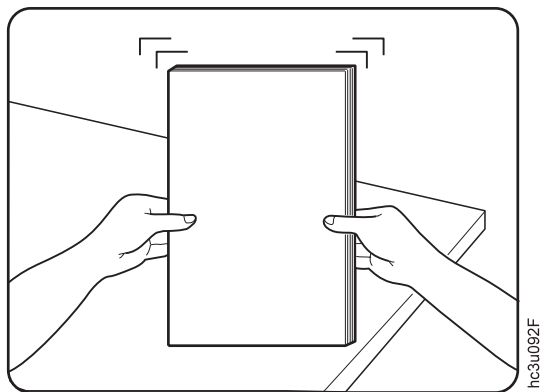
3. 手前の銀色の用紙ガイドを指でつまみ、軽く持ち上げながら左右に滑らせて、用紙サイズを合わせます。カチッと音がして、用紙ガイドがトレイの底のガイド穴にロックされます。



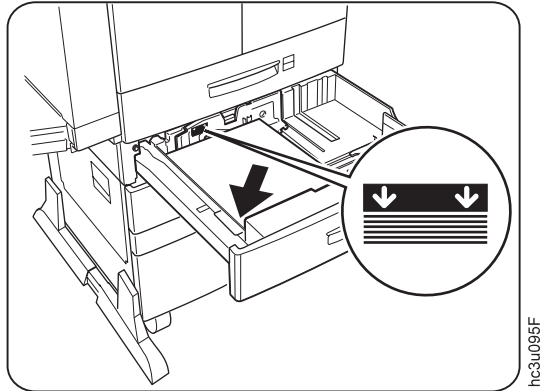
4. トレイの奥にもう 1 つ用紙ガイドがあります。グレーのレバーを押し下げながら、用紙ガイドを前後に滑らせて、用紙サイズを合わせます。



5. 用紙を準備します。
- 用紙の束をさばいて、紙がくっつかないようにします。
 - 用紙の上端をそろえます。

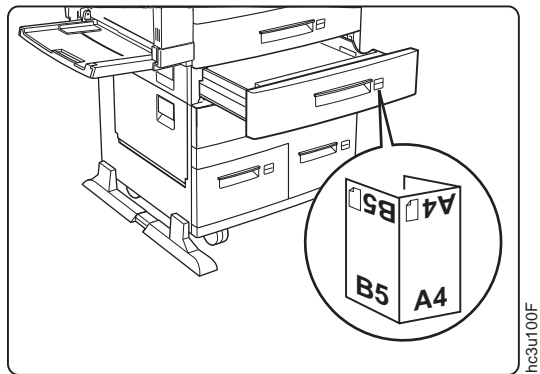


6. 用紙をトレイに置きます。用紙の周囲がぴったり収まるはずですが。

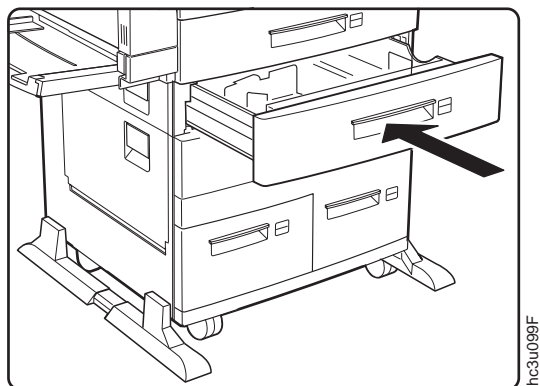


注:

- a. 用紙の束の高さが、限界マークを超えないようにしてください。用紙は平らに置いてください。用紙を曲げて置かないでください。
 - b. 用紙ガイドを正しい用紙サイズに調整していないと、紙詰まりの原因になります。
7. トレイ 1 にはラベルの袋が付属しています。使う用紙サイズのラベルを、トレイの上からラベル・スロットに差し込みます。



8. トレイをプリンターにセットします。カチッと音がして定位置にはまるまで押し込みます。



補助トレイに用紙をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

操作パネルで補助トレイを選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「ホジョ」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ)を参照してください。

印刷ジョブが PAGES で、補助トレイを使うときは、「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に用紙サイズを必ず指定します。『補助トレイの用紙サイズを変える』(95 ページ)を参照してください。

補助トレイに用紙をセットするときは、次のようにします。

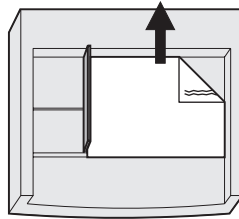
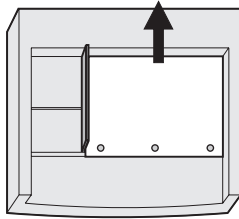
1. セットできる用紙の種類については、『用紙の種類』(52 ページ)を参照してください。下の図は、LEF および SEF 方向にセットした用紙を示しています。

す。LEF (Long-edge feed) は、用紙の長い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。SEF (Short-edge feed) は、用紙の短い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。

注: 「給紙方向」(LEF/SEF) と「印刷の向き」(縦 / 横またはポートレート / ランドスケープ) を混同しないでください。詳しくは『サイズ』(54 ページ) の LEF/SEF の説明を参照してください。

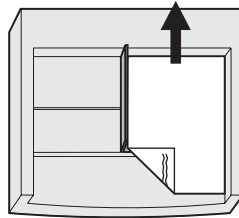
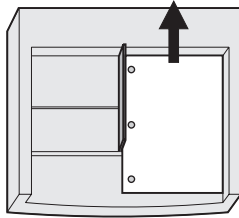
片面印刷

LEF



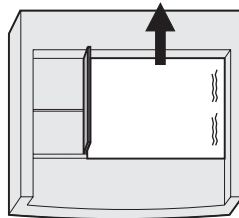
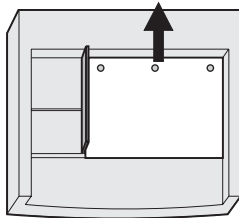
用紙の表側を下にする

SEF



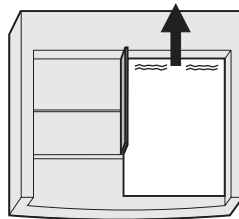
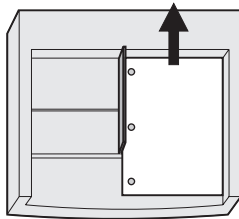
両面印刷

LEF



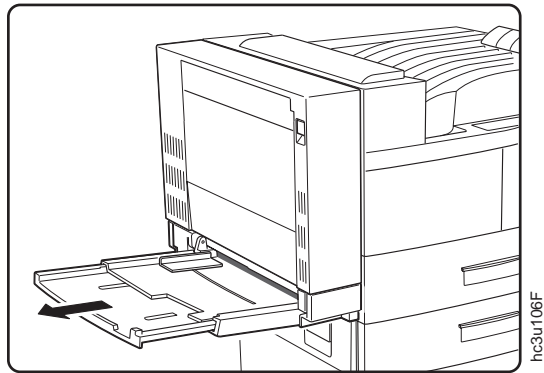
用紙の表側を上にする

SEF

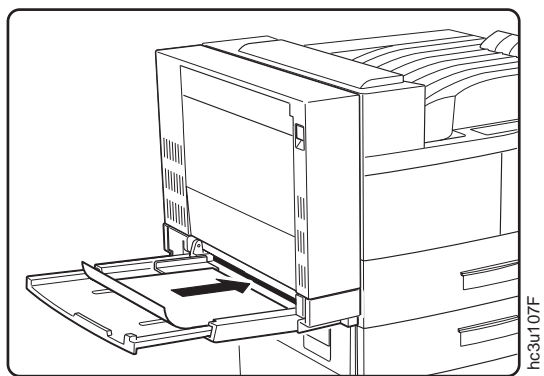


hc3u171F

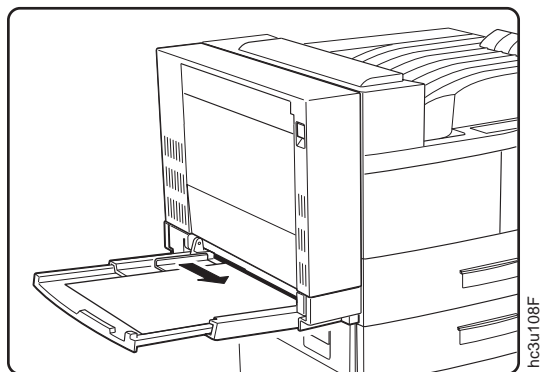
2. 補助トレイの延長部分を引き出し、用紙を置けるようにします。



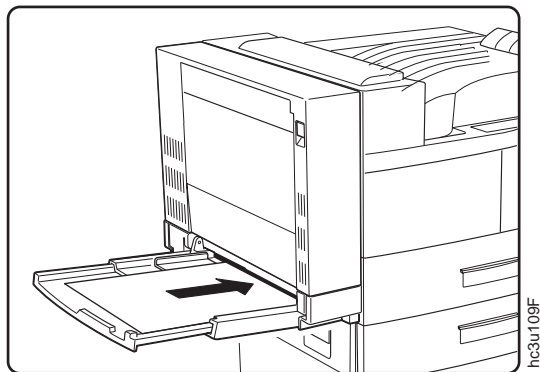
3. 用紙の四隅をそろえ、軽くプリンター本体側に押しあてて置きます。



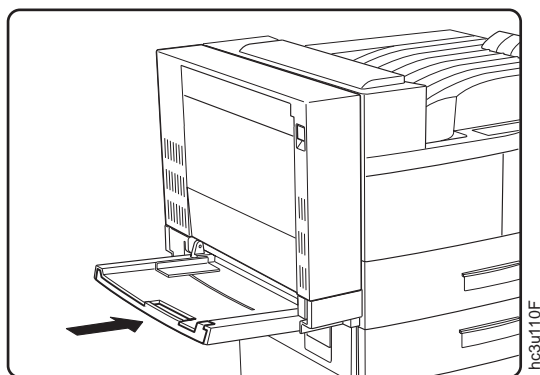
4. 用紙ガイドを押して用紙に軽く触れるようにします。



5. 用紙をプリンター内に差し込み、軽く突きあたるまで押し込みます。



6. 補助トレイが必要なくなったときは、残りの用紙を取り出してから、延長部分を押し戻します。



7. 印刷ジョブが PAGES のときは、次の点に注意してください。
- 用紙サイズは、アプリケーションまたはプリンター・ドライバーの設定画面で指定します。
 - 操作パネルの「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」で用紙サイズを指定します (95ページの『補助トレイの用紙サイズを変える』を参照してください)。
 - PAGES のジョブでは「ヨウシメニュー」の「シドウ=オン」は無効になります。用紙を手差しで1枚ずつ送ることはできません。
8. 印刷ジョブが PAGES 以外 (PCL、PostScript など) のときは、次の点に注意してください。

- 用紙サイズは、アプリケーションまたはプリンター・ドライバーの設定画面で指定します。
- もしもアプリケーションやプリンター・ドライバーで用紙サイズを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」で用紙サイズを指定します (95ページの『補助トレイの用紙サイズを変える』を参照してください)。アプリケーションやプリンター・ドライバーで用紙サイズを指定すると、「ホジョサイズ」の指定は無視されます。
- 補助トレイから手差しで1枚ずつ送りたいときは、アプリケーションかプリンター・ドライバーで手差しを指定します。指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で「シュドウ=オン」を指定します (132ページの『ヨウシメニュー』を参照してください)。
- PostScript ジョブで手差し印刷をするときは注意が必要です。「シュドウ=オフ」のときは、PostScript ジョブの指定 (手差しのオン/オフの指定) の方が操作パネルよりも優先されます。しかし「シュドウ=オン」のときは、PostScript ジョブの側の指定に関係なく、常に手差し印刷になります。したがって、手差し印刷をするために操作パネルで「シュドウ=オン」に変えたときは、印刷後に「シュドウ=オフ」に必ず戻してください。

補助トレイに不定形用紙をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

操作パネルで補助トレイを選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「ホジョ」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94ページ)を参照してください。

補助トレイから不定形用紙を給紙するときは、「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に「フテイケイ」を指定します。『補助トレイの用紙サイズを変える』(95ページ)を参照してください。

不定形用紙 (ユーザー定義用紙) は、必ず補助トレイから給紙します。サポートされる用紙サイズの範囲は、次のとおりです。

最小:

100 x 147mm
(3.92 x 5.75 in)

最大:

297.4 x 431.8mm
(11.6 x 17 in)

不定形用紙に印刷するには、次のようにします。

1. 「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に「フテイケイ」を指定します。
2. 印刷ジョブが PostScript や PCL のときは、次のようにします。
 - a. アプリケーション上で用紙サイズを選択します。通常は「ユニバーサル」または「Universal」を選びます。Windows NT のときはオペレーティング・システム上で用紙を定義して使うこともできます。「ユニバーサル」や「Universal」を選ぶと、アプリケーション上の用紙の大きさは、プリンターがサポートする最大サイズになります。
 - b. アプリケーションを使って文書を作成するときは、ページの右と下に十分なマージン (余白) を確保します。マージンの目的は、ページ上の文書領域の大きさが、実際に使う不定形用紙の大きさを超えないようにするためです。印刷データが、実際の不定形の大きさをはみ出すと、印刷結果は保証されません。正常に印刷するためには、次のようにしてアプリケーション上でマージンを確保し、文書領域が不定形用紙の大きさに収まるようにします。
 - c. 上マージンと左マージンについては、通常使っている値がそのまま使えます。特別な計算は必要ありません。
 - d. 431.8mm から不定形用紙の (縦方向の) 長さを引いた値が、最小下マージンになります。たとえば、不定形用紙の長さが 300mm だとします。このとき、 $431.8\text{mm} - 300\text{mm} = 131.8\text{mm}$ なので、下マージンは、少なくとも 131.8mm 必要です。
 - e. 297.4mm から不定形用紙の (横方向の) 幅を引いた値が、最小右マージンになります。たとえば、不定形用紙の幅が 210mm だとします。このとき、 $297.4\text{mm} - 210\text{mm} = 87.4\text{mm}$ なので、右マージンは、少なくとも 87.4mm 必要です。
 - f. 76ページの5に進みます。

3. 印刷ジョブが PAGES のときは、次のようにします。
 - a. コンピューター上で不定形用紙のサイズを定義し、プリンター・ドライバーで選択します。方法はオペレーティング・システムによって異なります。詳しくは、プリンター・ドライバーのヘルプや説明文書を参照してください。
 - 1) Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、OS/2 を使っているときは、プリンター・ドライバーのプロパティ画面で、不定形用紙を選択し、同時にサイズを定義します。不定形用紙の名前は「不定形 1」、「不定形 2」のように決まっています。不定形用紙サイズは 5 つまで定義できます。
 - 2) Windows NT 3.51 を使っているときは、「プリント マネージャ」の「プリンタ」メニューの「フォーム」で、不定形用紙の名前とサイズを定義します。アプリケーションから表示する文書属性画面で、定義した不定形用紙を選択します。
 - 3) Windows NT 4.0 を使っているときは、「プリンタ」フォルダーの「ファイル」メニューの「サーバーのプロパティ」で、不定形用紙の名前とサイズを定義します。アプリケーションから表示する「ドキュメントのプロパティ」画面で、定義した不定形用紙を選択します。
 - 4) 上記以外のオペレーティング・システムを使っているときや、プリンター・ドライバーを使わずに印刷データを作成しているときは、次のようにします。
 - 操作パネルの「カスタムヨウシメニュー」を使って、不定形用紙のサイズを定義します。不定形用紙サイズは 5 つまで定義できます。『PAGES 用または IPDS 用の不定形用紙サイズを定義する』(99 ページ) を参照してください。
 - 操作パネルの「PAGES メニュー」の「カスタムヨウシ」で不定形用紙を選択します。
 - b. アプリケーションに用紙を選択する機能 (ページ設定など) があるときは、3.a で定義した不定形用紙を選択します。
 - c. 下の 76 ページの 5 に進みます。
4. 印刷ジョブが IPDS のときは、次のようにします。
 - a. 操作パネルの「カスタムヨウシメニュー」を使って、不定形用紙のサイズを定義します。不定形用紙サイズは 5 つまで定義できます。『PAGES 用または IPDS 用の不定形用紙サイズを定義する』(99 ページ) を参照してください。

- b. 操作パネルの「IPDS メニュー」の「カスタムヨウシ」で、75ページの4.aで定義した不定形用紙を選択します。
 - c. 下の 5 に進みます。
5. 用紙の上端をプリンター本体側に向けてセットします。

補助トレイに封筒をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

操作パネルで補助トレイを選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「ホジョ」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ)を参照してください。

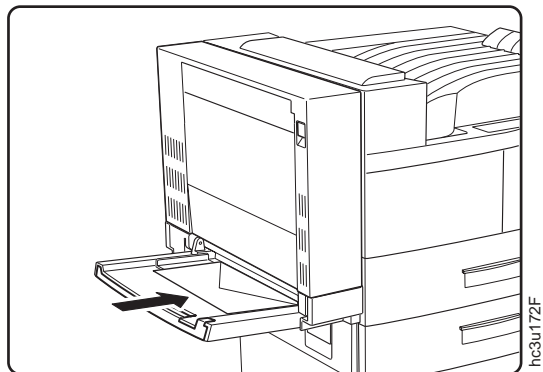
印刷ジョブが PAGES で、補助トレイを使うときは、「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に用紙サイズを必ず指定します。『補助トレイの用紙サイズを変える』(95 ページ)を参照してください。

補助トレイにセットできる封筒は、Monarch、COM10、C5、DL の 4 種類です。不定形封筒は封筒トレイを使って印刷します。これについては、『封筒トレイに不定形封筒をセットする』(91 ページ)を参照してください。

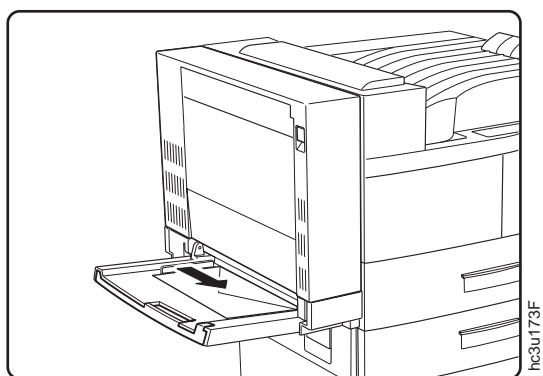
補助トレイに封筒をセットするときは、次のようにします。

1. セットできる封筒のサイズについては、『用紙の種類』(52 ページ)を参照してください。
2. 操作パネルの「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に封筒のサイズを指定します (95ページの『補助トレイの用紙サイズを変える』を参照してください)。
3. 一度にセットできる封筒は 4 枚までです。ふた (折り返し部分) を折り、ふたを上側にして、LEF (Long-edge feed) の向きにします。ふたが長い方の辺に付いているときは、ふたの側が先に送られるようにセットします。封筒の

四隅をそろえ、軽くプリンター本体側に押しあてて置きます。



4. 用紙ガイドを押しつけて封筒に軽く触れるようにします。



5. 封筒をプリンター内に差し込み、軽く突き当たるまで押し込みます。

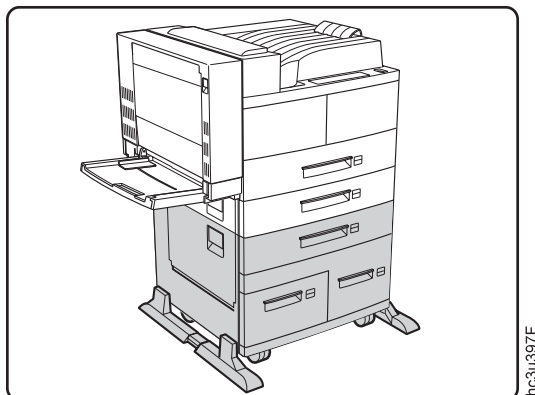
注:

- a. 印刷ジョブが PAGES のときは、次のようにします。
 - アプリケーションまたはプリンター・ドライバーで封筒サイズを指定します。
 - 操作パネルの「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」で封筒サイズを指定します (95ページの『補助トレイの用紙サイズを変える』を参照してください)。
 - PAGES のジョブでは「ヨウシメニュー」の「シュドウ=オン」は無効になります。封筒を手差しで 1 枚ずつ送ることはできません。

- b. 印刷ジョブが PAGES 以外 (PCL、PostScript など) のときは、次のようにします。
- アプリケーションまたはプリンター・ドライバで封筒サイズを指定します。
 - もしもアプリケーションやプリンター・ドライバで封筒サイズを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」で封筒サイズを指定します (95ページの『補助トレイの用紙サイズを変える』を参照してください)。アプリケーションやプリンター・ドライバで封筒サイズを指定すると、「ホジョサイズ」の指定は無効になります。
 - 補助トレイから手差しで 1 枚ずつ送りたいときは、アプリケーションかプリンター・ドライバで手差しを指定します。指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で「シュドウ=オン」を指定します (132ページの『ヨウシメニュー』を参照してください)。
 - PostScript ジョブで手差し印刷をするときは注意が必要です。「シュドウ=オフ」のときは、PostScript ジョブの指定 (手差しのオン/オフの指定) の方が操作パネルよりも優先されます。しかし「シュドウ=オン」のときは、PostScript ジョブの側の指定に関係なく、常に手差し印刷になります。したがって、手差し印刷をするために操作パネルで「シュドウ=オン」に変えたときは、印刷後に「シュドウ=オフ」に必ず戻してください。

トレイ 3、4、5 に用紙をセットする (2500 枚給紙ユニット)

2500 枚給紙ユニットを付けると、500 枚給紙トレイ 1 個 (トレイ 3) と 1000 枚給紙トレイ 2 個 (トレイ 4、5) が使えるようになります。



トレイ 3 に用紙をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

操作パネルでトレイ 3 を選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「トレイ 3」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ)を参照してください。

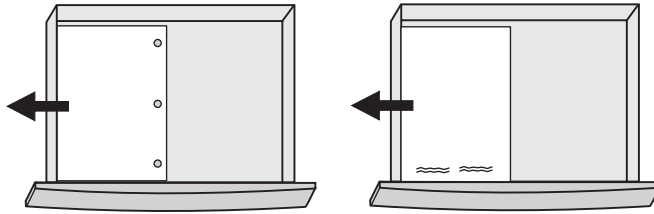
トレイ 3 に用紙をセットするときは、次のようにします。

1. セットできる用紙の種類については、『用紙の種類』(52 ページ)を参照してください。下の図は、LEF および SEF 方向にセットした用紙を示しています。LEF (Long-edge feed) は、用紙の長い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。SEF (Short-edge feed) は、用紙の短い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。

注: 「給紙方向」(LEF/SEF) と「印刷の向き」(縦 / 横またはポートレート / ランドスケープ) を混同しないでください。詳しくは『サイズ』(54 ページ) の LEF/SEF の説明を参照してください。

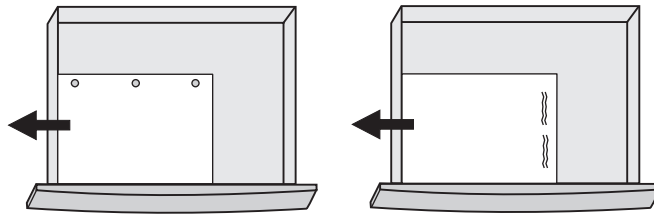
片面印刷

LEF



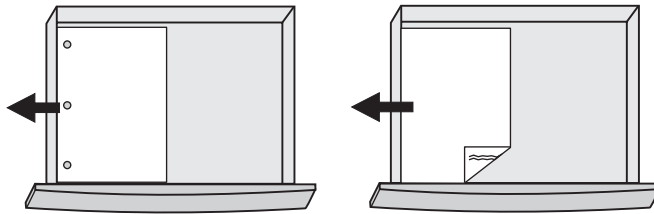
用紙の表側を上にする

SEF



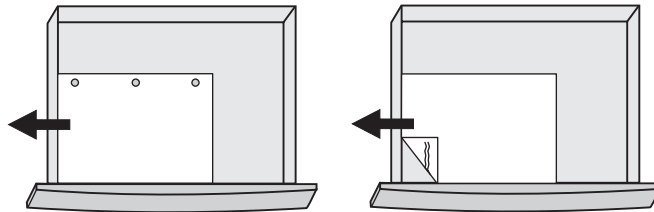
両面印刷

LEF



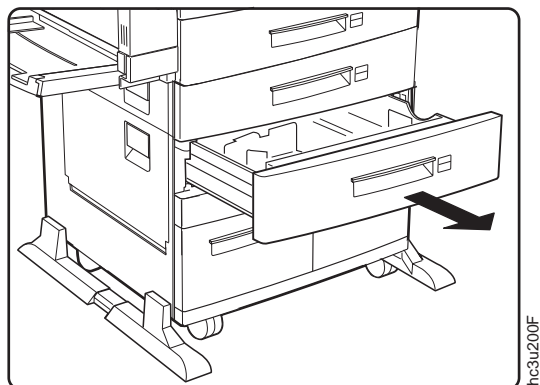
用紙の表側を下にする

SEF

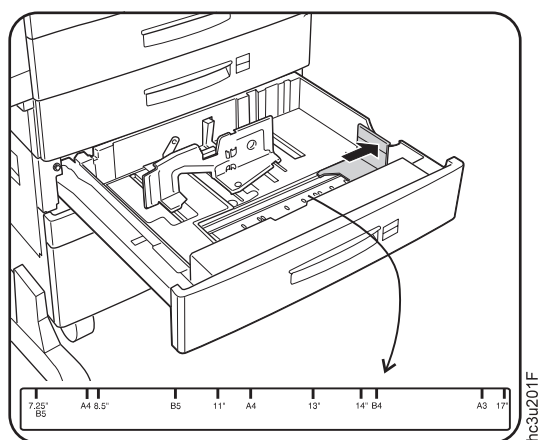


hc3u169F

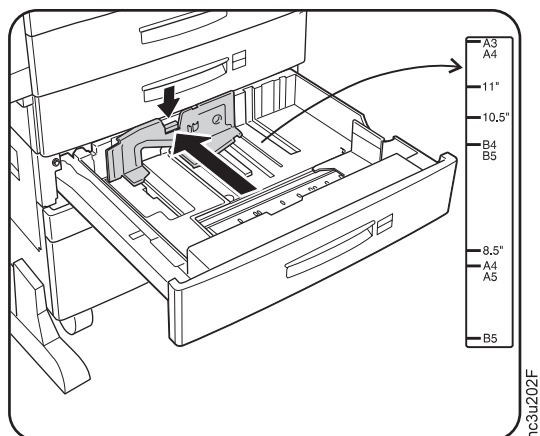
2. トレイに手をかけ、手前に止まるまで引き出します。



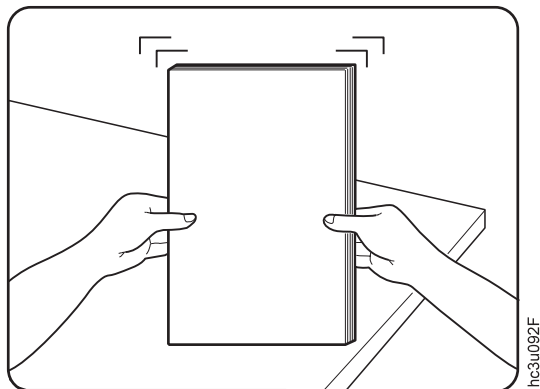
3. 手前の銀色の用紙ガイドを指でつまみ、軽く持ち上げながら左右に滑らせて、用紙サイズを合わせます。カチッと音がして、用紙ガイドがトレイの底のガイド穴にロックされます。



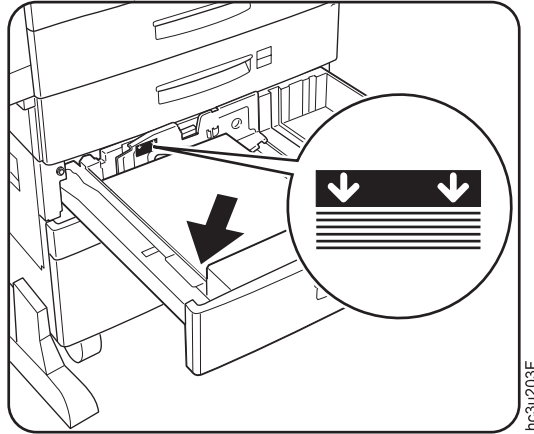
4. トレイの奥にもう 1 つ用紙ガイドがあります。グレーのレバーを押し下げながら、用紙ガイドを前後に滑らせて、用紙サイズに合わせます。



5. 用紙を準備します。
- 用紙の束をさばいて、紙がくっつかないようにします。
 - 用紙の端をそろえます。

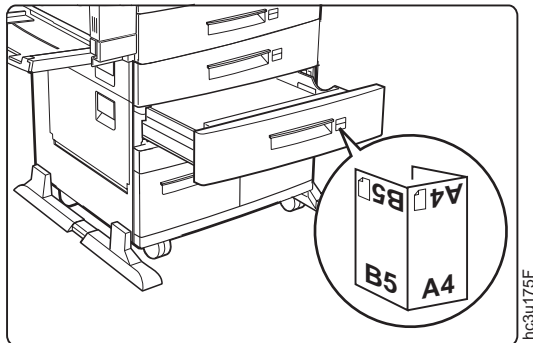


6. 用紙をトレイに置きます。用紙の周囲がぴったり収まるはずですが。

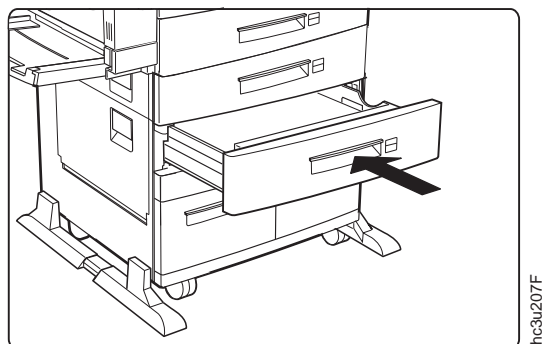


注:

- a. 用紙の束の高さが、限界マークを超えないようにしてください。用紙は平らに置いてください。用紙を曲げて置かないでください。
 - b. 用紙ガイドを正しい用紙サイズに調整していないと、紙詰まりの原因になります。
7. 使う用紙サイズのラベルを、トレイの上からラベル・スロットに差し込みます。



8. トレイをプリンターにセットします。カチッと音がして定位置にはまるまで押し込みます。



トレイ 4、トレイ 5 に用紙をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

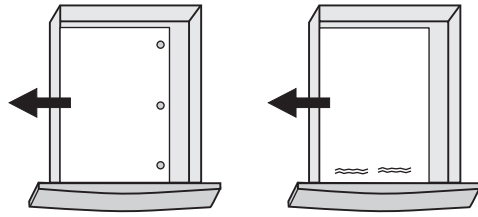
操作パネルでトレイ 4 またはトレイ 5 を選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「トレイ 4」または「トレイ 5」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ) を参照してください。

トレイ 4、トレイ 5 に用紙をセットするには、次のようにします。

1. セットできる用紙の種類については、『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。トレイ 4、トレイ 5 は SEF をサポートしていません。次の図は、LEF 方向にセットした用紙を示しています。LEF (Long-edge feed) は、用紙の長い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。SEF (Short-edge feed) は、用紙の短い辺の方向に送られるように用紙を置くことです。

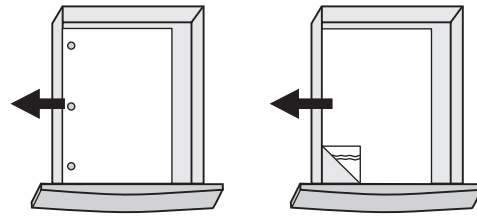
注: 「給紙方向」(LEF/SEF) と「印刷の向き」(縦 / 横またはポートレート / ランドスケープ) を混同しないでください。詳しくは『サイズ』(54 ページ) の LEF/SEF の説明を参照してください。

片面印刷
LEF



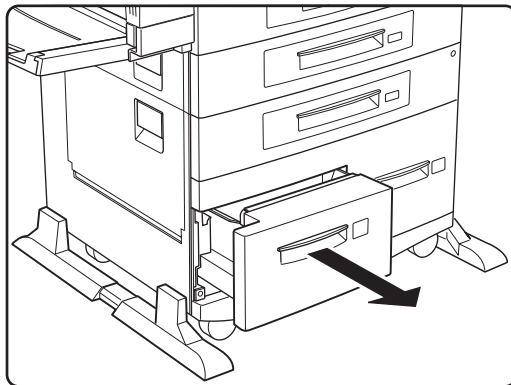
用紙の表側を上にする

両面印刷
LEF



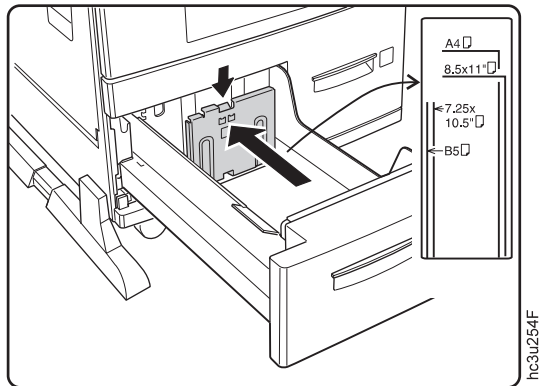
用紙の表側を下にする

2. トレイに手をかけ、手前に止まるまで引き出します。

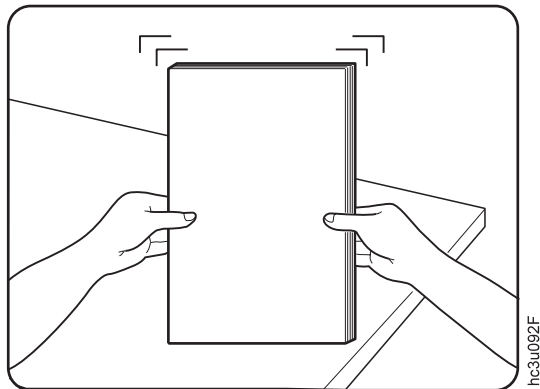


hc3u208F

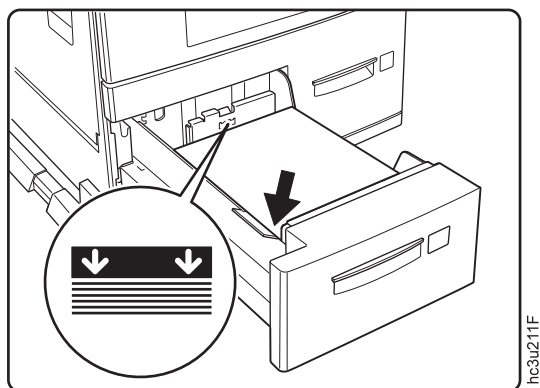
3. トレイの奥に用紙ガイドがあります。グレーのレバーを手前に倒しながら、用紙ガイドを前後に滑らせて、用紙サイズを合わせます。グレーのレバーを離すと、用紙ガイドはロックされます。レバーを離しても用紙ガイドが前後に滑るときは、用紙ガイドが用紙サイズの位置にぴったり合っていない。用紙ガイドを調整し直してください。



4. 用紙を準備します。
- 用紙の束をさばいて、紙がくっつかないようにします。
 - 用紙の上端をそろえます。

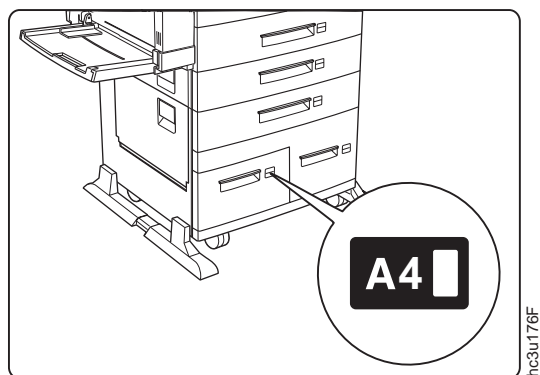


5. 用紙をトレイに置きます。用紙の手前側と奥側がぴったり収まるはずです。用紙の左側にすき間ができないように、軽く押しあてます。

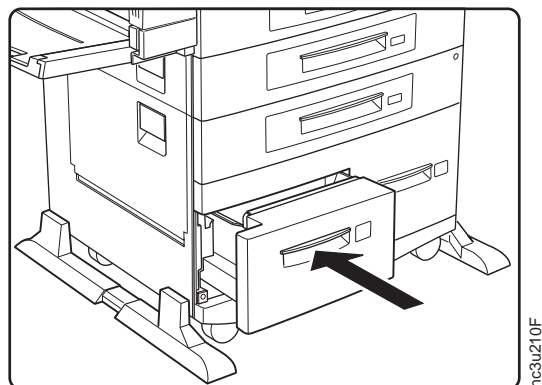


注:

- a. 用紙の束の高さが、限界マークを超えないようにしてください。用紙は平らに置いてください。用紙を曲げて置かないでください。
 - b. 用紙ガイドを正しい用紙サイズに調整していないと、紙詰まりの原因になります。
6. 使う用紙サイズのラベルを、トレイ番号の下に貼り付けます。



7. トレイをプリンターにセットします。定位置まで押し込みます。



封筒トレイに封筒をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

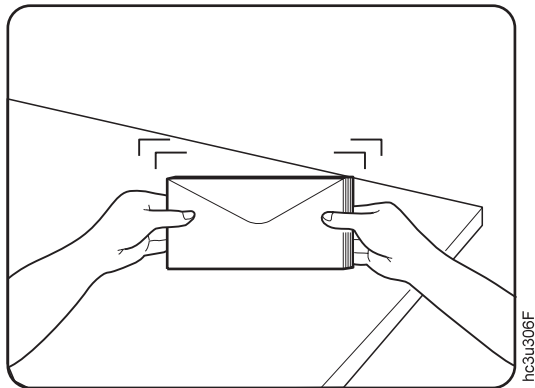
操作パネルで封筒トレイを選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「フウトウ」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ)を参照してください。

印刷ジョブが PAGES で、封筒トレイを使うときは、「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」に封筒サイズを必ず指定します。『封筒トレイの封筒サイズを変える』(96 ページ)を参照してください。

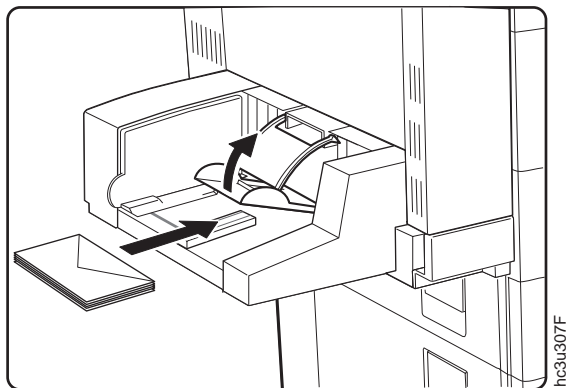
封筒トレイの導入方法は、『封筒トレイを取り付ける』(268 ページ)を参照してください。

封筒トレイを取り付けるときは、あらかじめ補助トレイを取り外します。封筒トレイと補助トレイは、同時には装着できません。封筒トレイに封筒をセットするときは、次のようにします。

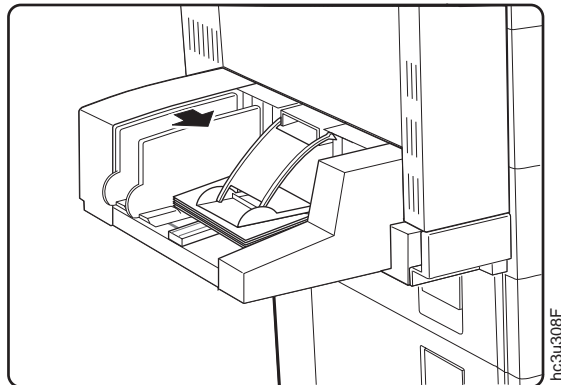
1. セットできる封筒の種類については、『用紙の種類』(52 ページ) を参照してください。
2. 封筒を準備します。封筒同士がくっつかないように、ふた (折り返し部分) はすべて閉じておいてください。



3. 用紙の押さえを持ち上げながら、LEF (Long-edge feed) の向きで (長い方の辺をプリンター本体に向けて) 差し込みます。ふたは上側にします。ふたが長い方の辺に付いているときは、ふたの側が先に送られる向きにセットします。



4. 封筒ガイドを動かして封筒に軽く触れるようにします。



注:

- a. 封筒の束の厚さが、限界マークを超えないようにしてください。
 - b. 印刷中に封筒を追加すると、紙詰まりを起こすことがあります。
5. 印刷ジョブが PAGES のときは、次のようにします。
- アプリケーションまたはプリンター・ドライバーで封筒サイズを指定します。
 - 操作パネルの「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」で封筒サイズを指定します (96ページの『封筒トレイの封筒サイズを変える』を参照してください)。
6. 印刷ジョブが PAGES 以外 (PCL、PostScript など) のときは、次のようにします。
- アプリケーションまたはプリンター・ドライバーで封筒サイズを指定します。
 - もしもアプリケーションやプリンター・ドライバーで封筒サイズを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」で封筒サイズを指定します (96ページの『封筒トレイの封筒サイズを変える』を参照してください)。アプリケーションやプリンター・ドライバーで封筒サイズを指定すると、「フウトウサイズ」の指定は無視されます。

封筒トレイに不定形封筒をセットする

注

給紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーやアプリケーションで行います。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定できないときは、操作パネルの「ヨウシメニュー」で指定します。プリンター・ドライバーやアプリケーションで給紙トレイを指定すると、「ヨウシメニュー」の指定は無視されます。

操作パネルで封筒トレイを選択するには「ヨウシメニュー」の「ソース」を「フウトウ」に設定します。『省略時の給紙トレイを変える』(94 ページ)を参照してください。

封筒トレイから不定形封筒を給紙するときは、「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」に「フテイケイ (フウトウ)」を指定します。『封筒トレイの封筒サイズを変える』(96 ページ)を参照してください。

封筒トレイの導入方法は、『封筒トレイを取り付ける』(268 ページ)を参照してください。

不定形封筒 (ユーザー定義サイズの封筒) は、必ず封筒トレイから給紙します。サポートされる封筒サイズの範囲は、次のとおりです。

最小:

98.4 x 190.5mm
(3.87 x 7.5 in)

最大:

215.9 x 245mm
(8.5 x 9.6 in)

不定形封筒を印刷するには、次のようにします。

1. 「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」項目を「フテイケイ (フウトウ)」に設定します。
2. 印刷ジョブが PostScript や PCL などのときは、次のようにします。
 - a. アプリケーション上で封筒サイズを選択します。通常は「ユニバーサル封筒」または「Universal Env」を選びます。Windows NT のときはオペレーティング・システム上で用紙を定義して使うこともできます。「ユニバーサル封筒」や「Universal Env」を選ぶと、アプリケーション上の用紙の大きさは、プリンターがサポートする最大サイズになります。

- b. アプリケーションを使って文書を作成するときは、ページの右と下に十分なマージン (余白) を確保します。マージンの目的は、ページ上の文書領域の大きさが、実際に使う不定形封筒の大きさを超えないようにするためです。印刷データが、実際の不定形封筒の大きさをはみ出すと、印刷結果は保証されません。正常に印刷するためには、次のようにしてアプリケーション上でマージンを確保し、文書領域が不定形封筒の大きさに収まるようにします。
 - c. 上マージンと左マージンについては、通常使っている値がそのまま使えます。特別な計算は必要ありません。
 - d. 215.9mm から不定形封筒の (縦方向の) 長さを引いた値が、最小下マージンになります。たとえば、不定形封筒の長さが 100mm だとします。このとき、 $215.9\text{mm} - 100\text{mm} = 115.9\text{mm}$ なので、下マージンは、少なくとも 115.9mm 必要です。
 - e. 245mm から不定形封筒の (横方向の) 幅を引いた値が、最小右マージンになります。たとえば、不定形封筒の幅が 210mm だとします。このとき、 $245\text{mm} - 210\text{mm} = 35\text{mm}$ なので、右マージンは、少なくとも 35mm 必要です。
 - f. 93ページの5に進みます。
3. 印刷ジョブが PAGES のときは、次のようにします。
- a. コンピューター上で不定形封筒のサイズを定義し、プリンター・ドライバーで選択します。方法はオペレーティング・システムによって異なります。詳しくは、プリンター・ドライバーのヘルプや説明文書を参照してください (不定形封筒の定義方法は、不定形用紙 [普通紙] と同じです)。
 - 1) Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、OS/2 を使っているときは、プリンター・ドライバーのプロパティ画面で、不定形用紙を選択し、同時にサイズを定義します。不定形用紙の名前は「不定形 1」、「不定形 2」のように決まっています。不定形用紙サイズは 5 つまで定義できます (不定形封筒の用紙名は、普通紙の不定形用紙を使うときと同じになります)。
 - 2) Windows NT 3.51 を使っているときは、「プリント マネージャ」の「プリンタ」メニューの「フォーム」で、不定形封筒の名前とサイズを定義します。アプリケーションから表示する文書属性画面で、定義した不定形封筒を選択します。
 - 3) Windows NT 4.0 を使っているときは、「プリンタ」フォルダーの「ファイル」メニューの「サーバーのプロパティ」で、不定形封筒の名前とサイズを定義します。アプリケーションから表示する「ドキュメントのプロパティ」画面で、定義した不定形封筒を選択します。

- 4) 上記以外のオペレーティング・システムを使っているときや、プリンター・ドライバーを使わずに印刷データを作成しているときは、次のようにします。
 - 操作パネルの「カスタムヨウシメニュー」を使って、不定形封筒のサイズを定義します。不定形封筒サイズは 5 つまで定義できます。『PAGES 用または IPDS 用の不定形用紙サイズを定義する』(99 ページ) を参照してください。
 - 操作パネルの「PAGES メニュー」の「カスタムヨウシ」で不定形封筒を選択します。
- b. アプリケーションに用紙を選択する機能 (ページ設定など) があるときは、92ページの3.a で定義した不定形封筒を選択します。
- c. 下の 5 に進みます。
4. 印刷ジョブが IPDS のときは、次のようにします。
 - a. 操作パネルの「カスタムヨウシメニュー」を使って、不定形封筒のサイズを定義します。不定形封筒サイズは 5 つまで定義できます。『PAGES 用または IPDS 用の不定形用紙サイズを定義する』(99 ページ) を参照してください。
 - b. 操作パネルの「IPDS メニュー」の「カスタムヨウシ」で、4.a で定義した不定形封筒を選択します。
 - c. 下の 5 に進みます。
5. 封筒をセットします。『封筒トレイに封筒をセットする』(88 ページ) を参照してください。

用紙の設定

操作パネルの「ヨウシメニュー」と「カスタムヨウシメニュー」の使い方の例を説明します。次のページも参照してください。

- 『基本的な操作』(44ページ)
- 『第9章 ネットワーク・アドレスの設定』(287ページ)

注: アプリケーションやプリンター・ドライバーによっては、用紙サイズ、給紙トレイ、排紙トレイ、手差しなどを指定できるものがあります。アプリケーションやプリンター・ドライバーで指定した値は、操作パネルで指定

した値よりも優先されます。アプリケーションとプリンター・ドライバーでは、アプリケーションの設定が優先されます。つまり、設定内容が食い違っているとき、優先順位は

アプリケーション > プリンター・ドライバー > 操作パネル

になります。

省略時の給紙トレイを変える

プリンターの省略時の給紙トレイを変えます。

操作手順:

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して、「ヨウシメニュー」を表示させます。
3. [項目] を押して「ソース=□*」を表示させます。□は現在の設定値です。
4. [値] を繰り返し押して、省略時の給紙トレイを選びます。
5. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
6. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

注: アプリケーションやプリンター・ドライバーで給紙トレイを指定すると、プリンターの操作パネルで指定した省略時値の給紙トレイは無視されません。優先順位は次のようになります。

アプリケーション > プリンター・ドライバー > 操作パネル

たとえば、アプリケーションでトレイ 1 を指定したとします。このとき、プリンター・ドライバーや操作パネルの指定は無視され、トレイ 1 から給紙されます。

アプリケーションに給紙トレイを指定する機能がないときは、プリンター・ドライバーの指定によって給紙トレイが決まります。

省略時の排紙トレイを変える

プリンターの省略時の排紙トレイを変えます。

操作手順:

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して「ヨウシメニュー」を表示させます。

3. [項目] を数回押して「シュツリヨク=□*」を表示させます。□は現在の設定値です。
4. [値] を繰り返し押して、省略時の排紙トレイを次の中から選びます。「フィニッシャー 1」以下はフィニッシャーが付いているときだけ表示されます。
 - 「メイン」は、メイン・トレイです。フェースダウン [下向き] で出力されます。
 - 「フェースアップ」は、フェースアップ・トレイです。フェースアップ [上向き] で出力されます。
 - 「フィニッシャー 1」は、フィニッシャーの上側の排紙トレイです。
 - 「フィニッシャー 2」は、フィニッシャーの真ん中の排紙トレイです。
 - 「フィニッシャー 3」は、フィニッシャーの下側の排紙トレイです。
 - 「フィニッシャー ジドゥ」は、フィニッシャーの自動切り替えです。フィニッシャー 1、2、3 のうちどれかがいっぱいになっても、まだ空いている別のフィニッシャーに自動的に切り替わって出力を続けます。
5. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
6. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

注: プリンター・ドライバーで指定した排紙トレイは、操作パネルで指定した省略時の排紙パネルよりも優先されます。たとえば、プリンター・ドライバーでメインを指定したとします。このときは、操作パネルで省略時の排紙トレイがフェースアップ・トレイになっていても、メイン・トレイに排紙されます。

補助トレイの用紙サイズを変える

補助トレイから給紙する用紙のサイズを変えます。

操作手順:

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して、「ヨウシメニュー」を表示させます。
3. [項目] を数回押して「ホジョサイズ=□*」を表示させます。□は現在の設定値です。
4. [値] を繰り返し押して、用紙サイズを選びます。

注: メニューにない用紙サイズを選ぶには、「フテイケイ」を選択してください。詳しくは、『補助トレイに不定形用紙をセットする』(73 ページ)を参照してください。

5. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
6. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

封筒トレイの封筒サイズを変える

封筒トレイから給紙する封筒のサイズを変えます (オプションの封筒トレイが付いているものとします)。

操作手順:

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して、「ヨウシメニュー」を表示させます。
3. [項目] を数回押して「フウトウサイズ=□*」を表示させます。□は現在の設定値です。
4. [値] を繰り返し押して、封筒サイズを選びます。
5. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
6. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

トレイ切り替え機能を使う

トレイ切り替え機能のオン/オフを指定します。

- トレイ切り替えがオンのとき
印刷時に指定した給紙トレイが用紙切れになると、プリンターは、別の給紙トレイに同じ用紙が入っていないか探します。
- トレイ切り替えがオフのとき
印刷時に指定した給紙トレイが用紙切れになると、操作パネルの液晶表示部に
「□ヲ○ニロード」
と表示されます。□は用紙名、○は給紙トレイの名前です。

工場出荷時は、トレイ切り替え機能はオンです。給紙トレイに間違ったサイズ
の用紙が入っていたときは、トレイ切り替え機能がオンかオフかに関係なく、
プリンターは常に別の給紙トレイを探します。プリンターが給紙トレイを探す
順序は次の通りです。

1. アプリケーションやプリンター・ドライバーで給紙トレイを指定したときは、その給紙トレイ (アプリケーションに給紙トレイを指定する機能があれば、プリンター・ドライバーの指定よりも優先されます)。アプリケーションやプリンター・ドライバーで給紙トレイを指定しなかったときは、操作パネルで指定した省略時の給紙トレイ。

2. トレイ 5 (存在するとき)
3. トレイ 4 (存在するとき)
4. トレイ 3 (存在するとき)
5. トレイ 2
6. トレイ 1
7. 補助トレイ (「ヨウシメニュー」の「リョウメン」が「オフ」のときだけ。
「オン」だとプリンターは補助トレイを探しません)

操作手順:

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して、「ヨウシメニュー」を表示させます。
3. [項目] を数回押して「トレイ・スイッチ=□*」を表示させます。□は現在の設定です。
4. [値] を繰り返し押して「オン」か「オフ」を選びます。
5. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
6. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

注:

1. プリンターが探す一連の給紙トレイから、任意のトレイを除外できます。除外したトレイは、用紙切れが起きても探す対象になりません。この機能を「トレイ保護」と言います。「ヨウシメニュー」の「トレイ□ホゴ」(140ページ、□はトレイ番号)、「ホジョトレイホゴ」(142ページ)、「フウトウトレイホゴ」(143ページ)の説明を参照してください。。
2. たとえ用紙サイズが同じでも、用紙の向きが違くと、探す対象にはなりません。たとえば、トレイ 1 に A4 用紙が SEF (Short-edge feed、短い方の辺から送られる向き) で入っており、トレイ 3 に A4 用紙が LEF (Long-edge feed、長い方の辺から送られる向き) で入っているとします。このとき、トレイ切り替え機能は働きません。たとえトレイ 3 が用紙切れになっていても、トレイ 1 からは給紙されません。LEF、SEF については『サイズ』(54 ページ)を参照してください。
3. 用紙切れではなく、給紙トレイに間違ったサイズの用紙が入っていたときは、トレイ切り替え機能は必ず働きます。用紙サイズが間違っていたときのトレイ切り替え機能は「オフ」にできません。「ヨウシメニュー」の「トレイ□ホゴ」(□はトレイ番号)などを使っても、探す対象から除外することはできません。
4. 印刷ジョブが PostScript のとき、最初のページに対してはトレイ切り替え機能が常に働きます。言い換えると、PostScript ジョブの 1 ページ目を印刷す

るときに用紙切れが起きていると、プリンターはほかのトレイに同じ用紙が入っていないか必ず探します。たとえ「トレイ・スイッチ=オフ」でもこの機能は働きます。「ヨウシメニュー」の「トレイ□ホゴ」(□はトレイ番号)などを使っても、探す対象から除外することはできません。

PostScript ジョブの 2 ページ目以降で用紙切れが起きたときは、「トレイ・スイッチ=オフ」が有効になります。つまり、トレイ切り換えが起きないようにできます。「トレイ□ホゴ」も有効で、探す対象から特定のトレイを除外できます。

5. プリンターがどのトレイにも正しいサイズ of 用紙を見つけれないと、操作パネルに

「11 □ヲ○ニロード」

と表示されます。□は用紙名、○は給紙トレイの名前です。給紙トレイの名前は、必ずしもアプリケーションやプリンター・ドライバーで指定した給紙トレイにはなりません。プリンターが最後に探した給紙トレイの名前が表示されることがあります。

両面印刷を行う

両面印刷を行います (両面印刷ユニットが付いているものとします)。

操作手順: 『両面印刷を行う』(44 ページ) を参照してください。

PCLの省略時の用紙サイズを変える

PCLジョブの省略時の用紙サイズを変えます。

プリンター構成ページは、ここで定義した用紙に印刷されます。プリンター構成ページを印刷するときは、用紙サイズを A4 かレター以上の大きさにしておきます。

操作手順::

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して「PCL メニュー」を表示させます。
3. [項目] を数回押して「ヨウシサイズ=□*」を表示させます。□には現在の値が入っています。
4. [値] を繰り返し押して用紙サイズを選びます。プリンター構成ページを印刷するときは、A4 かレター以上の用紙サイズにします。
5. [実行] を押します。アスタリスク(*)が表示され、選択が確定します。
6. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

注:

1. 印刷ジョブの中で用紙サイズを指定している(つまり、アプリケーションかプリンター・ドライバで用紙サイズを指定している)、印刷ジョブの指定が優先されます。操作パネルで定義した用紙サイズは無効になります。
2. プリンター構成ページは、プリンター内部で PCL ジョブとして印刷されます。したがって、プリンター構成ページの用紙サイズは、ここで説明した操作手順で変えられます。用紙サイズが A4 かレターより小さいと、構成ページが正しく印刷されません。
3. プリンター構成ページの印刷方法は『プリンター構成ページを印刷する』(40 ページ) を参照してください。

PAGES 用または IPDS 用の不定形用紙サイズを定義する

PAGES または IPDS の印刷ジョブ用に不定形用紙サイズを操作パネルで定義します。

- 不定形用紙は 5 つまで定義できます。以下の説明は、例として「ヨウシ 1」の定義方法を示します。「ヨウシ 2」～「ヨウシ 5」も同様です。
- 操作パネルで定義する不定形サイズは、普通紙と封筒の両方に共通です。不定形封筒のサイズを定義するときも、操作手順は同じです。
- PAGES で不定形用紙を使うときは、通常コンピューター上で不定形用紙のサイズを定義し、プリンター・ドライバで選択します。操作パネルで不定形用紙のサイズを定義する必要はありません。詳しくは、
 - 『補助トレイに不定形用紙をセットする』(73 ページ)、または
 - 『封筒トレイに不定形封筒をセットする』(91 ページ)を参照してください。操作パネルで不定形用紙のサイズを定義する必要があるのは、次のような場合です。
 - Windows や OS/2 以外のオペレーティング・システムを使っているとき
 - プリンター・ドライバを使わずに印刷データを作成しているときプリンター・ドライバで不定形用紙のサイズを指定すると、操作パネルで定義した不定形用紙サイズは無視されます。
- 不定形用紙(普通紙)は、必ず補助トレイから給紙します。「ヨウシメニュー」の「ホジョサイズ」に「フテイケイ」を指定します。詳しくは、『補助トレイに不定形用紙をセットする』(73 ページ) を参照してください。

- 不定形封筒は、必ず封筒トレイから給紙します。「ヨウシメニュー」の「フウトウサイズ」に「フテイケイ (フウトウ)」を指定します。詳しくは、『封筒トレイに不定形封筒をセットする』(91 ページ) を参照してください。

操作手順:

1. [オンライン] を押して、プリンターを「オフライン」にします。
2. [メニュー] を数回押して、「カスタムヨウシメニュー」を表示させます。
3. 用紙のサイズの単位を決めます。
 - a. [項目] を数回押して「ヨウシ 1 タンイ=□*」を表示させます。□は現在設定されている単位です。
 - b. [値] を繰り返し押して、「ミリ」か「インチ」を選びます。
 - c. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
4. 用紙の (縦方向の) 長さを定義します。
 - a. [項目] を数回押して「ヨウシ 1 ナガサ=□*」を表示させます。□は現在の設定値です。
 - b. [値] を繰り返し押して、用紙の長さを選びます。
 - c. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
5. 用紙の (横方向の) 幅を定義します。
 - a. [項目] を数回押して「ヨウシ 1 ハバ=□*」を表示させます。□は現在の設定値です。
 - b. [値] を繰り返し押して、用紙の幅を選びます。
 - c. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
6. 「PAGES メニュー」または「IPDS メニュー」で用紙を指定します。
 - a. [メニュー] を数回押して「PAGES メニュー」または「IPDS メニュー」を表示させます。
 - b. [項目] を数回押して「カスタムヨウシ=□*」を表示させます。□は現在選んでいる不定形用紙の番号です。
 - c. [値] を数回押して「カスタムヨウシ= 1」を表示させます。
 - d. [実行] を押します。アスタリスク (*) が表示され、選択が確定します。
7. [オンライン] を押して、プリンターを「インサツカノウ」にします。

ステープル機能 (ホチキス) を使う

オプションのフィニッシャーには、印刷出力を自動的にステープル (ホチキス) でとじる機能があります。

操作手順:

1. プリンター本体にフィニッシャーを取り付けます。『フィニッシャーを取り付ける』(271 ページ) を参照してください。
2. 排紙トレイにフィニッシャー 1 ~ 3 のどれかを指定します。排紙トレイの指定は、通常プリンター・ドライバーで行います (アプリケーションに排紙トレイを指定する機能があるときは、アプリケーションで指定します)。アプリケーションやプリンター・ドライバーで排紙トレイを指定できないときは、操作パネルで指定します (「ヨウシメニュー」の「シュツリョク」で指定します)。アプリケーションやプリンター・ドライバーで指定した排紙トレイは、操作パネルで指定した排紙トレイよりも優先されます。
3. 102ページの図1を見てください。ステープルにはパターンがいくつかあります。紙のどこかとじられるかは、次の 3 つの要素で決まります。
 - ステープルでとじるのは 1 カ所か 2 カ所か
 - 印刷の向きは縦 (ポートレート) か横 (ランドスケープ) か
 - 給紙方向は LEF (Long-edge feed、長い方の辺から送る) か SEF (Short-edge feed、短い方の辺から送る) か

注: 「印刷の向き」(縦 / 横またはポートレート / ランドスケープ) と「給紙方向」(LEF/SEF) を混同しないでください。詳しくは『サイズ』(54 ページ) の LEF/SEF の説明を参照してください。

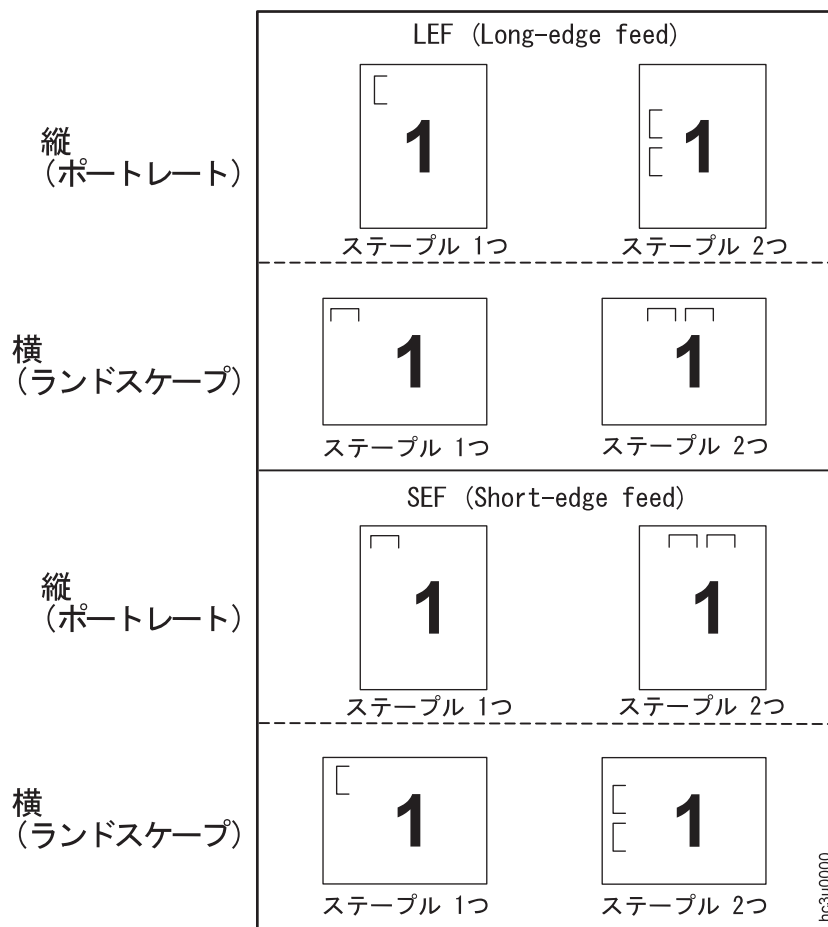


図1. ステープルの位置

4. プリンター・ドライバーの設定で、ステープルのパターンを選びます (PAGES、PostScript、PCL、IPDS などのコマンドでもステープルを指定できます)。操作パネルからはステープルを指定できません。プリンター・ドライバーでは、通常次の 6 つのパターンから選びます (プリンター・ドライバーによって選択肢が変わります)。

1	ステープルなし
2	ステープル 1 つ、縦 (ポートレート)
3	ステープル 1 つ、横 (ランドスケープ)
4	ステープル 2 つ
5	ステープル 2 つ、縦 (ポートレート)
6	ステープル 2 つ、横 (ランドスケープ)

4 番目の「ステープル 2 つ」は、IBM ネットワーク・プリンター 24 との互換性のために残されています。通常は使いません。

注:

- a. PAGES のプリンター・ドライバーでは、ステープルの数 (1 つか2 つか) を指定しますが、縦 (ポートレート) か横 (ランドスケープ) かは指定しません。縦か横かは、印刷の向きの指定と同じとみなされます (印刷の向きの縦/横は常に指定します)。
- b. 不定形用紙はステープルが使えません。不定形用紙以外のすべての用紙は、ステープルが使えます。A5 と Executive は LEF (Long-edge feed、長い方の辺から送られる給紙方向) のときだけステープルが使えます。
- c. 1 ページだけの印刷ジョブは、ステープルを利用できません。
- d. フィニッシャーを取り付けていないと、プリンター・ドライバーでステープルを指定しても無視されます。
- e. 1 つの印刷ジョブに片面印刷と両面印刷のページが混在していると、ステープルは利用できません。IPDS のジョブは、このような混在が可能なので注意してください。PostScript、PAGES、PCL では、1 つのジョブ全体が片面印刷か両面印刷のどちらかなので、この制限はあてはまりません。
- f. ステープルを使っているときは、次のどれかに達するまでフィニッシャーに排紙できます (紙の厚みや重さなどによって条件は変わります)。
 - 排紙された紙の厚みの合計が 48mm になる。
 - 枚数が 600 枚になる。
 - ステープルでとじた束が 100 セットになる。

たとえば、50 枚ごとにステープルでとじると、12 セットまで一度に排紙できます。20 枚ごとなら、30 セットまでです。しかし、たとえ合計が 600 枚に満たなくても、100 セットを超える排紙はできません。

